

## 平成27年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	中澤 淳
		全体計画						経費区分		-		内線	3254
事務事業名	4136 生活雑排水対策事業												
所 属	140100 環境部・生活環境課												
施 策	03011100 環境を守る活動の推進												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	040106 衛生費・保健衛生費・公害対策費											
	事業	020000 生活雑排水対策事業											
事業目的						事業概要・効果							
公共下水道に接続する世帯数の増加と、未接続世帯の排水について河川等の水質維持を図るため、生活排水の適正な処理を行う。						生活排水(し尿を除く)乾燥処理、運搬、堆肥化处理業務を業者に委託し適正に処理する。 河川の水質維持のため、個人設置型の浄化槽に対する設置費用の補助を行う。							

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

平成22年度 実績	平成23年度 実績
浄化槽設置補助件数 1件 生活排水汚泥処理数量(中間) 472,270ℓ	浄化槽設置補助件数 0件 生活排水汚泥処理数量(中間) 410,480ℓ
平成24年度 実績	平成25年度 実績
浄化槽設置補助件数 0件 生活排水汚泥処理数量(中間) 356,500ℓ	浄化槽設置補助件数 1件 生活排水汚泥処理数量(中間) 287,960ℓ
平成26年度 実績	平成27年度 予定
浄化槽設置補助件数 0件 生活排水汚泥処理数量(中間) 264,200ℓ	浄化槽設置補助件数 1件 生活排水汚泥処理数量(中間) 230,000ℓ

指標名	生活排水汚泥処理数						
算式						単位	ℓ
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標	410,480	356,500	287,960	260,000	230,000	
	実績	410,480	356,500	287,960	264,200		
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		2,992	3,989
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	182
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		2,992	3,807
人員数(人)	正規職員	0.2	0.3
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	1,371.6	2,057.4
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	1,371.6	2,057.4
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		4,363.6	6,046.4

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	2,951	生活雑排水汚泥処理委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	41	長野県浄化槽推進協議会負担金
その他	0	

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	3,400	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	589	
その他	0	

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	汚泥を適正に処理できる許可業者へ委託して処理している。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	公共下水道への接続率の向上（水洗化率の向上）	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	使用料の受益者負担はあるが、公共下水道との負担割合について検討が必要。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

年々公共下水道への切り替えが進み、生活雑排水汚泥の処理は減少傾向にあるが、河川等の水質維持のためには適正な処理を行わなければならない。

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>下水道普及に伴い、今後事業の縮小が予想されるが、当面は現事業を継続し、下水道接続までの適正処理を行っていく必要がある。</p>		<p>雑排水の収集・処理量は減少するが、河川の水質保全のためには、依然として有用な事業。適切な受益者負担をいただきながら、継続して行く必要がある。</p>	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	